

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

近所の大自然

岳南中学校

二年

鎌田

こうめ

千尋の滝。千尋の滝は私の家から近い場所にある。検索をしようと思っても変換で出てこない千尋の滝。そこには私の思い出がたくさん詰まっています。

私がまだ幼い頃、犬の散歩で家のそばにある坂を上っていた。山に雪が積もり始める季節になると、だんだん歩く距離も増えた。正面からは見えにくい奥の方、初めて見たカーブ

中学校

の先、新しい場所を知るのは楽しかった。どんぐり犬の体かもついで、周りに家がないところまで来ていた。あたりは木ばかりで迷子になりそうだった。母が、ここをずいっと歩いていくと大きな滝が見られるよ。と言っていたことを思い出して、行って来た。先には自然があるのか、という疑問もあつた。ある休みの日、母と早い時間帯から散歩に

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たらないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

行った。といつても、何日も何か月も歩いたあの坂はとくに飽きていた。しかし母はいつもの折り返し地点で止まらば歩き続けた。まだ歩くの？

と駄目なこねても歩き続ける母に、犬は嫌がらな、喜んでいるように見える。でも、新しい景色はやっぱり好きだ。知らなかつた世界を知れた感じがして、ワクワクする。そんな気持ちで歩き始めた。でもそんなすぐにきれいな景色が見えるはずなく、茶色い木がま

中学校

ぼらに並んだ森のままだった。不安と期待を持ちながら名前も知らない場所へ向かった。しばらくくすると水の音が聞こえた。近いようで遠い歩いてきた道はほぼ見えなくなり、達成感を感じた。看板が見えた。千尋の滝。

千尋の滝？

初めて見た文字で初めて見た場所。暗かった森の中で歩くと歩いていったせいか、視界が白あつと明るくなつた。近くで見た千尋の滝の壮大な迫力、音、そしてそこから景色に

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおぎなひ、むだなことはけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

圧倒された。身近にこんなきれいな景色があることを自慢したくなるほどの滝だった。これが私の千尋の滝下の思い出だ。
 千尋の滝は美しい。何年かた、た今でも、私はそう思う。何年後もこの美しい水を継ぎ、この美しい景色を見に来る人がいる。そんな千尋の滝であってほしい。そして、これからもっとと素晴らし自然にしていくため、私は一人人間に何かできることはいないだろうか。日ごろからそんな意識をしたり、小さなことか

中学校

らはじめただけで環境への負荷が減るかもしれないというところを知ってほしい。私も、屋久島にあるたくさんの素晴らし自然を汚さないために、ゴミを決められた場所に捨てよう。ゴミを捨てたり、ポイ捨てされたゴミを拾うなど、日常の小さなことから始めたい。はじめ、千尋の滝を見た日のこと、私は鮮明に覚えている。そして私は、このとき、感動を日本に、世界に広めていきたい。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぎえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぎえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

